

■山片蟠桃(升屋小右衛門) 商人，経世家。全国数十藩の財政再建，失明の乗り越え，驚くべき自由経済思想「夢の代」。

やまがたばんとう

忠臣蔵・・・1748＝ 生。播磨国印南郡神爪村小兵衛の次男。

徳川吉宗没・1751＝ 3歳：

源内物産会・1757＝ 9歳：

大岡忠光没・1760＝12歳：大坂に出て米仲買，大名貸で名高い升屋平右衛門の別家升屋久兵衛(蟠桃の伯父)の家を継ぐとともに，

__懷徳堂に通って，中井竹山・履軒に師事，

__図抜けた記憶力と聡明さで“懷徳堂の諸葛孔明”と呼ばれるほどになる。

忠臣蔵大当り1766＝18歳：

田沼意次老中1772＝24歳：__番頭として経営危機の升屋本家再興に尽力。

黄表紙始・・・1775＝27歳：

麻田剛立に天文学を習った。

蘭学階梯・・・1783＝35歳：*仙台藩の頼みに応じて1万5千両の金を調達，それとともに仙台藩の財政の立て直しの相談役になると，「貝米制度」の設立を提案し，「サシ米」を願い出て，年内6千両の利益をあげる。

意知刺殺事件1784＝36歳：

田沼意次失脚1786＝38歳：

__続いて豊後岡藩の財政を再建，

松平定信引退1793＝45歳：__「昼夜長短図並解」を著す。

__さらに，全国数十藩の財政再建に関わって異例の成功を収めた。

一九膝栗毛始1802＝54歳：*「夢の代」の底本になる「宰我の徴」を書き始める。

アメリカ船来航始1803＝55歳：「宰我の徴」の初稿本成る。

いざノ来航・1804＝56歳：__升屋が全国数十藩の蔵元・掛屋・立入をつとめる豪商にまで発展，

青洲麻酔手術1805＝57歳：__功により升屋本家(山片氏)の親類次席となり改姓。

いざノ報復・1806＝58歳：「古大知弁」を草す。

フェートン号事件1808＝60歳：仙台藩のために「米札制度」を考案。

浮世風呂・・・1809＝61歳：仙台藩財用方斉藤左五郎に「一致共和対策弁」を書く。

・・・・・・1810＝62歳：妻のぶを失う。

ゴッポン拿捕1811＝63歳：

高田屋拿捕・1812＝64歳：*老中松平定信に「大知弁」を献策。これがのち増補されて「夢の代」巻6第22節となっている。

浮世床・・・1813＝65歳：__失明。

杉田玄白没・1817＝69歳：子の芳達に家督を譲る。

水野忠成老中1818＝70歳：

群書類従完結1819＝71歳：__幕府から多年の功を施表され，故郷の神爪村に明かぬ眼で錦を飾る。

・・・・・・1820＝72歳：*封建制下に驚くべき実学的合理的思考を展開した畢生の労作「夢の代」を完成して，

伊能図完成・1821＝73歳：__没した。